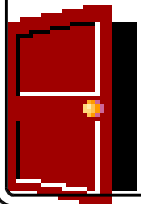


《読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



# 読書活動への扉を開く！

桑村小学校 令和4年11月30日 文責 渡邊

## 「読み聞かせボランティアの記録」 5・6年生教室を紹介します！

読書通信『読書活動への扉を開く！』の11月28日号で、「読み聞かせボランティアの記録」の1年生から4年生教室の記録を紹介しました。今回は、5年生と6年生教室で読み聞かせをしていただいた方の記録を紹介します。

### 【第5学年教室読み聞かせ 保護者の記録より】

本の題名 「大食いフィニギンのホネのスープ」(カンブリア・エバンズ作)  
記 録

大食いで嫌われていたフィニギンが美味しいスープを作って、みんなでハロウィンのごちそうを食べるお話を読みました。

集中して聴いてくれていたので読み聞かせしやすかったです。とても静かに聴いてくれていたので少し緊張しました。

本の題名 「賢者の贈り物」(オーヘンリーによる短編小説)  
記 録

新約聖書の東方の聖者がキリスト誕生に贈り物を持って祝いに来たエピソードを元に贈り物をめぐる行き違いが書かれています。

有名なお話なので知っている子供が何人かいましたが、タイトルの意味までは知らなかったようでした。簡単に説明しましたが、興味をもって聴いてくれました。相手を思いやる気持ち、相手の幸せを願う気持ち、それらを大事にしてくれるといいなと思いました。

### 【第6学年教室読み聞かせ 保護者の記録より】

本の題名 「ねむりのはなし」(ポールシャワーズ作 ウェンディワトソン絵)  
記 録

年々睡眠時間の減少が目立つ子供たちに少しでも「ねむり」の大切さが伝わればと思い、この本を選びました。6年生に「自分の睡眠は足りてる、足りてない」と質問したところ、半数以上の子が足りていると答えてくれました。しっかり時間の管理ができている6年生はさすがだなと感じました。足りていないと答えた子も、これからねむりの大切さを意識して過ごしてくれたらと思います。

本の題名 「ホームランを打ったことのない君に」(長谷川 集平作)  
記 録

もうすぐ小学校を卒業する6年生に、これからたくさんの困難があっても夢をもって欲しい、夢をあきらめないで欲しいという願いを込めて読み聞かせをさせていただきました。クラスに野球をやっている子がいたので反応してくれ、私の緊張が少しほぐれました。楽しかったです。

保護者の皆様方には、たくさんの応援をありがとうございます。特に6年生の保護者の皆様には6年間「読み聞かせ」に協力していただきました。本当にありがとうございました！

## 朝の挨拶、「松井さん、高田さん、薫さん、校長先生おはようございます」 「交通安全」「いかのおすし」「勉強大好き」

毎朝、西門の坂の下で、桑村小学校応援団(「コミュニティ・スクール」の本校の呼称)の松井さん、鈴木さん、大竹駐在所の高田さん、校長の4人で見守りをしています。そして、そこに6年生保護者の大門さんがパサディナ地区の子供たちを送って来てくれます。

今年度、1年生と2年生は、高田さんと松井さんから交通安全教室と防犯教室において、自動車事故や不審者等から大切な生命を守ることを教えていただきました。それを子どもたちは忘れないようにと毎朝、復唱しています。

「松井さん、おはようございます。いかのおすし！」

「高田さん、おはようございます。交通安全！」

あれ、校長先生には…。ということで生まれたのが、「校長先生、おはようございます。勉強大好き！」です。笑顔で子供たちが「勉強大好き」と言ってくれる姿がとても可愛くて愛おしいです。

しかし、子供たちにとって楽しい勉強とは、どういう勉強をいうのでしょうか？それは、とても難しい問いであるように思われます。

『論語』(孔子の言行を記録した書物)の中に、「子曰く 学ばて時に之を習う 亦説ばしからずや」という文言があります。これについて、いろいろ解釈されたものがありますが、中でもわたしは「先生は言われた。学んだことをその時々で実践、経験し自分のものになっていくことはとても楽しいではないか」というものが好きです。学習したことが教室から離れたところで自分のものになっていったとき楽しさを味わえるというものです。授業での学習はその場面で終わりになりません。きっと子供たちの中に新たな問いが生まれるはずです。そして、その問いを発見したとき、更なる学びへと発展していくのです。

学生の頃、『論語』を読んでもその意味が咀嚼できないでいた自分がいた覚えがあります。しかし、今、こうしてじっくり読み返してみると、なんと素敵な文言がたくさん詰まっているのかと気付かされます。読書って楽しいですね。昔とても難しく感じられた文章を読み返したとき、以前とは違った感想を抱き、心底おもしろいなと感ずることができるのですから。

勉強のおもしろさもそれぞれの子供たちが感じ取ってほしいものです！

「校長先生、勉強大好き！」と全ての子供たちが感じてもらえるように、全職員で楽しい授業づくりに取り組んでいきたいと思ひます。



【朝の見守りの様子】



【元気に登校してくれてありがとう】

----- 切り取り線 -----

「読書活動の扉を開く」(11月30日号)を読んでの感想

( )年( )